

佐賀県主要経済統計速報

(2022年10月号)

〈目次〉

1 概況

・佐賀県の動向	1 頁
(参考) 全国の動向	2 頁
九州の動向	3 頁

2 主要統計の動き

(1) 個人消費	百貨店・スーパー販売額	4 頁
	乗用車新規登録台数	5 頁
(2) 住宅建設	新設住宅着工戸数	6 頁
(3) 公共工事	公共工事前払保証請負金額	7 頁
(4) 鉱工業生産	鉱工業生産指数	8 頁
	鉱工業出荷、在庫指数	9 頁
(5) 雇用労働	所定外労働時間数	10 頁
	有効求人倍率	11・12 頁
(6) 企業倒産	企業倒産件数、負債金額	13 頁
(7) 物 価	消費者物価指数	14 頁
(8) 金 融	金融機関別貸出残高	15 頁
	貸出約定平均金利	
(9) 人 口	人口、世帯	16 頁

3 佐賀県景気動向指数	17 頁
-----------------------------------	------

(注) 表中の p は速報値、r は確報値または改定値を表す。

令和4年(2022年)10月31日 発行

1 概 況

佐賀県の動向

本県経済の最近の動向（対前年同月比）をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額（8月）は、全店販売額が2ヵ月連続で上回った。
乗用車新規登録台数（9月）は、16ヵ月振りに上回った。
新設住宅着工戸数（8月）は、2ヵ月振りに上回った。
公共工事前払保証請負金額（9月）は、2ヵ月連続で下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数（8月）は、2ヵ月連続で上回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)（8月）は、16ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産件数（9月）は1件増で、負債金額（9月）は3ヵ月連続で上回った。
- ・金融機関（銀行）貸出残高（9月）は、32ヵ月連続で上回った。

項 目		対象月	数 値	対前年同月比・増 減 分		前月比・増減分			
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額	8月	53億19百万円	4.9%	↗	△2.4%	↘
			既存店販売額		—	4.9%	↗	—	—
		乗用車新規登録台数	9月	2,115台	14.7%	↗	40.2%	↗	
	住宅建設	新設住宅着工戸数	8月	458戸	7.3%	↗	△2.3%	↘	
	公共工事	公共工事前払保証請負金額	9月	102億16百万円	△10.2%	↘	△19.0%	↘	
生産	鉱工業生産指数（注）		8月	98.6	4.0%	↗	2.0%	↗	
雇用	所定外労働時間数指数（事業所規模30人以上）		8月	91.1	△10.6%	↘	—	—	
	有効求人倍率・受理地別（季節調整済）		8月	1.33倍	0.09	↗	△0.05	↘	
	有効求人倍率・就業地別（〃）		8月	1.54倍	0.15	↗	△0.02	↘	
企業倒産	企業倒産状況 (累計は年間ベース) (注)	倒産件数（当月）	9月	1件	1件	↘	△4件	↗	
		〃（累計）		17件	1件	↘	—	—	
		負債金額（当月）		60百万円	60百万円	↘	△7億37百万円	↗	
		〃（累計）		26億88百万円	12億33百万円	↘	—	—	
物価	消費者物価指数（佐賀市）		8月	101.8	2.7%	↗	0.2%	↗	
金融	金融機関（銀行）貸出残高		9月	1兆4,414億円	2.6%	↗	△0.4%	↘	
人口	推計人口		10月	800,511人	△5,210人	↘	△372人	↘	
	推計世帯数			317,304世帯	2,573世帯	↗	96世帯	↗	
景気動向指数	先行指数		8月	30.0%	—	—	—	—	
	一致指数			85.7%	—	—	—	—	
	遅行指数			66.7%	—	—	—	—	

（注）鉱工業生産指数の前年同期比は原指数、前月比は季節調整済指数を比較したものである。

（注）企業倒産状況の矢印は、数値と逆方向を示す。

(参考)

全国の動向

(1) 総論

- 景気は、緩やかに持ち直している。
- ・個人消費は、緩やかに持ち直している。
 - ・設備投資は、持ち直している。
 - ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
 - ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
 - ・企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
 - ・雇用情勢は、持ち直している。
 - ・消費者物価は、上昇している。

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

(2) 消費・投資等の需要動向

- ①個人消費は、緩やかに持ち直している。
- ②設備投資は、持ち直している。
- ③住宅建設は、底堅い動きとなっている。
- ④公共投資は、底堅さが増している。
- ⑤輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、おおむね横ばいとなっている。貿易・サービス収支は、赤字となっている。

(3) 企業活動と雇用情勢

- ①生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ②企業収益は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば改善している。
- ③企業の業況判断は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。
- ④倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。
- ⑤雇用情勢は、持ち直している。

(4) 物価と金融情勢

- ①消費者物価は、上昇している。
- ②株価（日経平均株価）は、26,200 円台から 27,300 円台まで上昇した後、26,800 円台まで下落した。対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、144 円台から 143 円台まで円高方向に推移した後、150 円台まで円安方向に推移した。

（以上、内閣府「月例経済報告（令和4年10月）」令和4年10月25日）

(5) 国の景気動向指数（令和4年8月分C I・平成27年=100）

- | | | | |
|-------|-------|-----|------------------|
| ・先行指数 | 101.3 | ・・・ | 前月と比較して2.4ポイント上昇 |
| ・一致指数 | 101.8 | ・・・ | 前月と比較して1.7ポイント上昇 |
| ・遅行指数 | 98.9 | ・・・ | 前月と比較して1.7ポイント上昇 |

（以上、内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」（改訂値）令和4年10月26日）

(参考)

九州の動向

1 総論

九州・沖縄の景気は、緩やかに持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、緩やかに持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、全体として増加している。住宅投資は、持ち直している。輸出は、持ち直しの動きが一服している。

こうした中で、生産は、持ち直しの動きが一服している。雇用・所得情勢をみると、一部に弱い動きがみられるが、全体としては緩やかに改善している。

9月短観における企業の業況感は、製造業・非製造業ともに改善している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約、原材料価格等の上昇、海外の金融・経済動向が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

2 個人消費

- ・ 個人消費は、緩やかに持ち直している。

3 住宅投資

- ・ 住宅投資は、持ち直している。
8月の新設住宅着工戸数は、分譲の増加を主因に前年を上回った。

4 公共投資

- ・ 公共投資は、高水準で推移している。
9月の公共工事請負金額は、国発注分の減少を主因に前年を下回った。

5 設備投資

- ・ 設備投資は、全体として増加している。
9月短観（九州・沖縄地区）における2022年度の設備投資（除く電気・ガス）は、前年を上回る計画となっている。
8月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

6 輸出

- ・ 輸出は、持ち直しの動きが一服している。
8月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

7 生産

- ・ 生産（鉱工業生産）は、持ち直しの動きが一服している。

8 雇用・所得

- ・ 雇用・所得情勢をみると、一部に弱い動きがみられるが、全体としては緩やかに改善している。
労働需給をみると、有効求人倍率は緩やかに改善している。
7月の雇用者所得総額は、常用労働者数の増加を主因に前年を上回った。

9 物価

- ・ 8月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（8月：+2.5%）。

10 金融

- ・ 8月の預金残高をみると、個人預金を中心に前年を上回った。
- ・ 8月の貸出残高をみると、個人向けを中心に前年を上回った。
- ・ 9月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を上回った。

（以上、日本銀行福岡支店「九州・沖縄の金融経済概況（2022年10月）」2022年10月19日）

2 主要統計の動き

(1) 個人消費

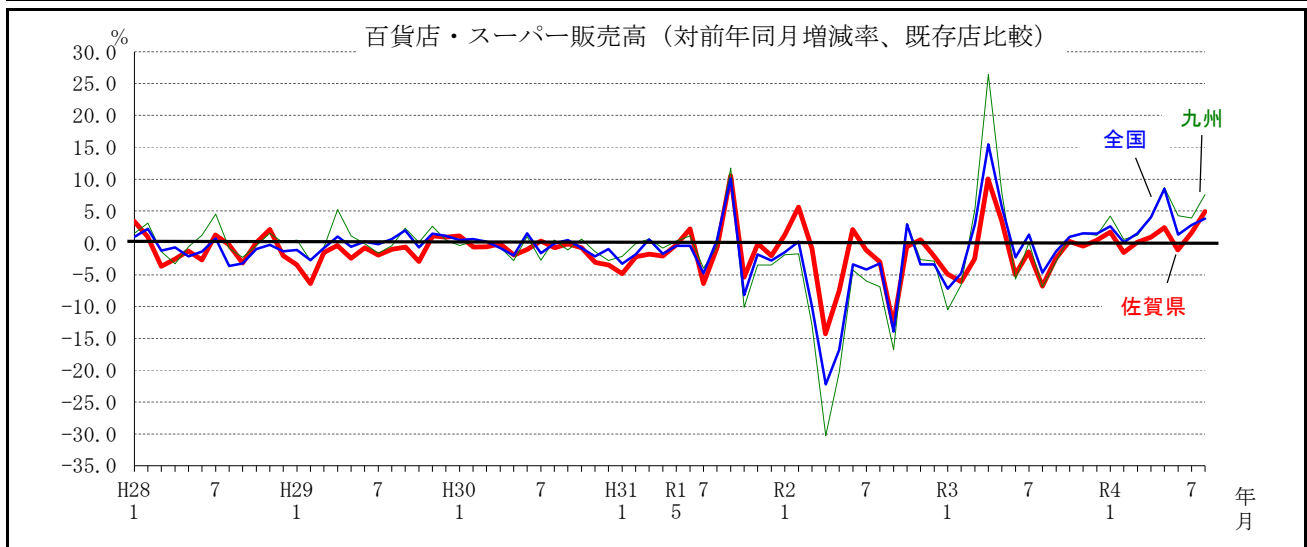
百貨店・スーパー販売額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県		対 前 年 同 月 増 減 率			
	全 店 販 売 額		佐賀県全店	既 存 店		
		前月比		佐賀県	九 州	全 国
平成29年	64,840		-0.6	-1.5	0.5	0.0
30	62,821		-3.1	-1.0	-0.9	-0.5
令和元年	59,832		-4.8	-1.3	-1.1	-1.3
2	61,299		-1.0	-2.8	-8.5	-6.6
3	61,138		-0.9	-1.4	0.3	0.6
令和3年 3月	4,969	10.0	0.2	-2.5	5.3	2.9
4	4,799	-3.4	12.0	10.0	26.4	15.5
5	4,966	3.5	6.1	3.4	7.9	5.7
6	5,075	2.2	-2.6	-5.0	-5.7	-2.3
7	5,367	5.8	-1.4	-1.4	-0.0	1.3
8	5,070	-5.5	-6.8	-6.8	-6.9	-4.7
9	4,544	-10.4	-5.3	-2.4	-2.9	-1.3
10	4,959	9.1	-1.7	0.2	1.0	0.9
11	5,334	7.6	-2.2	-0.5	1.4	1.5
12	6,499	21.8	-1.7	0.4	1.2	1.4
4年 1月	5,041	-22.4	-0.0	1.7	4.2	2.6
2	4,373	-13.3	-3.2	-1.5	0.5	0.1
3	4,981	13.9	0.2	0.1	1.2	1.5
4	4,874	-2.1	1.6	0.9	4.1	4.0
5	5,111	4.9	2.9	2.4	8.7	8.5
6	5,040	-1.4	-0.7	-1.1	4.3	1.3
7	5,448	8.1	1.5	1.6	3.9	2.8
8	5,319	-2.4	4.9	4.9	7.6	3.8

経済産業省『商業動態統計確報』九州には沖縄を含む。

※令和2年3月分から調査対象事業所の見直しが行われたため、令和2年2月以前の月間販売額などとの間に不連続が生じている。したがって、令和2年3月分以降の一年間の対前年同月増減率は、令和2年2月分以前の月間販売額に、見直しに伴うギャップを調整するための「リンク係数」を乗じた数値をもとに算出している。



8月は、既存店（当年及び前年とも調査対象となった店舗）での比較は、前年同月比4.9%増となり、2ヵ月連続で前年同月を上回った。
全店（調査対象が新設の店舗を含む）の販売額は53億19百万円で前年同月比4.9%増となり、2ヵ月連続で前年同月を上回った。

(1) 個人消費 (続き)

乗用車新規登録台数

(台、%)

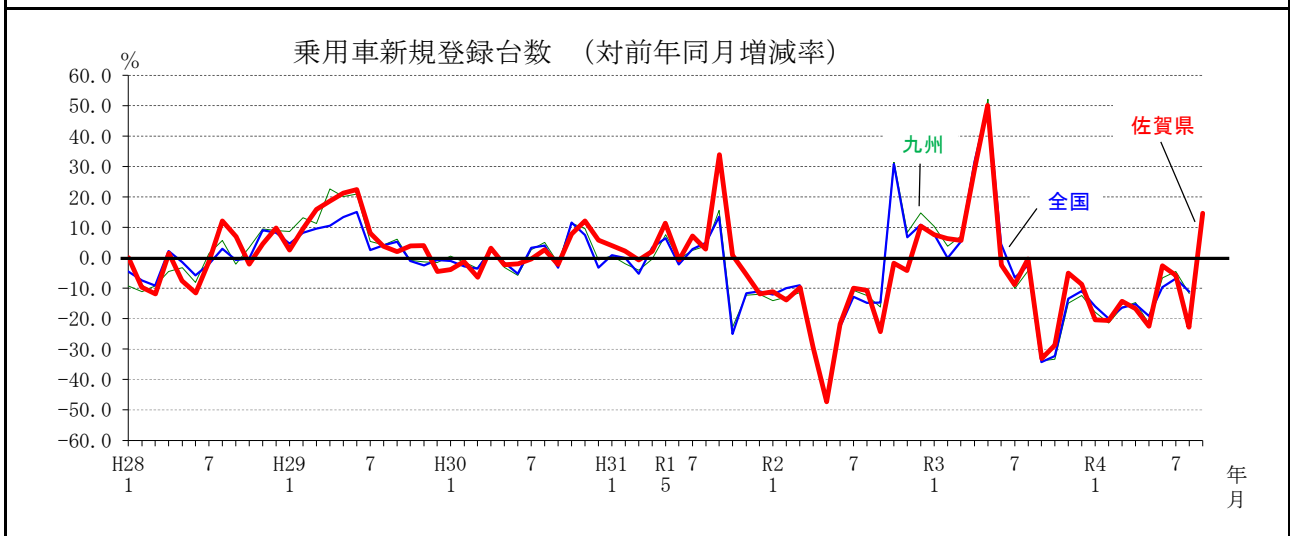
年 月	佐 賀 県				対前年同月増減率				
	総 数		内 訳		佐 賀 県			九 州	全 国
	前月比		普通車	軽自動車	総 数	普通車	軽自動車		
平成29 年度	30,002		15,321	14,681	4.1	-2.2	11.5	4.7	2.5
30	30,655		15,561	15,094	2.2	1.6	2.8	0.7	0.3
令和元 年度	30,628		15,842	14,786	-0.1	1.8	-2.0	-5.0	-4.4
2	27,516		14,066	13,450	-10.2	-11.2	-9.0	-6.0	-7.6
3	24,845		12,868	11,977	-9.7	-8.5	-11.0	-11.5	-10.1
令和 3 年 4 月	2,021	-44.6	958	1,063	29.1	20.7	37.7	31.4	31.6
5	1,843	-8.8	897	946	50.1	21.4	93.5	52.1	50.0
6	1,961	6.4	994	967	-2.4	0.7	-5.4	-1.2	4.5
7	2,160	10.1	1,152	1,008	-8.9	-2.7	-15.2	-10.1	-6.5
8	1,955	-9.5	1,074	881	-0.4	13.5	-13.4	-4.2	-2.5
9	1,844	-5.7	922	922	-33.2	-36.6	-29.3	-33.9	-34.3
10	1,669	-9.5	819	850	-28.8	-32.2	-25.2	-33.3	-32.3
11	2,162	29.5	1,140	1,022	-5.0	-2.3	-7.8	-15.0	-13.5
12	1,997	-7.6	1,041	956	-8.8	-8.3	-9.3	-12.4	-11.0
4 年 1 月	1,960	-1.9	1,101	859	-20.4	-12.4	-28.7	-17.9	-16.0
2	2,145	9.4	1,119	1,026	-20.6	-17.1	-24.1	-21.4	-19.9
3	3,128	45.8	1,651	1,477	-14.3	-10.5	-18.1	-16.3	-16.4
4	1,683	-46.2	794	889	-16.7	-17.1	-16.4	-14.7	-15.3
5	1,428	-15.2	740	688	-22.5	-17.5	-27.3	-21.7	-19.1
6	1,910	33.8	983	927	-2.6	-1.1	-4.1	-6.6	-9.7
7	2,034	6.5	1,078	956	-5.8	-6.4	-5.2	-4.5	-6.9
8	1,509	-25.8	804	705	-22.8	-25.1	-20.0	-11.8	-11.2
9	2,115	40.2	1,149	966	14.7	24.6	4.8		

佐賀：日本自動車販売協会連合会福岡県自動車販売店協会、全国軽自動車協会連合会調

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』

※普通車には小型車を含む。

※九州、全国の指数(対前年同月増減率)は普通車と軽自動車の合計。九州には沖縄を含まない。



9月は、2,115台で前年同月比14.7%増となり、16ヵ月振りに前年同月を上回った。また、前月比は40.2%増となった。

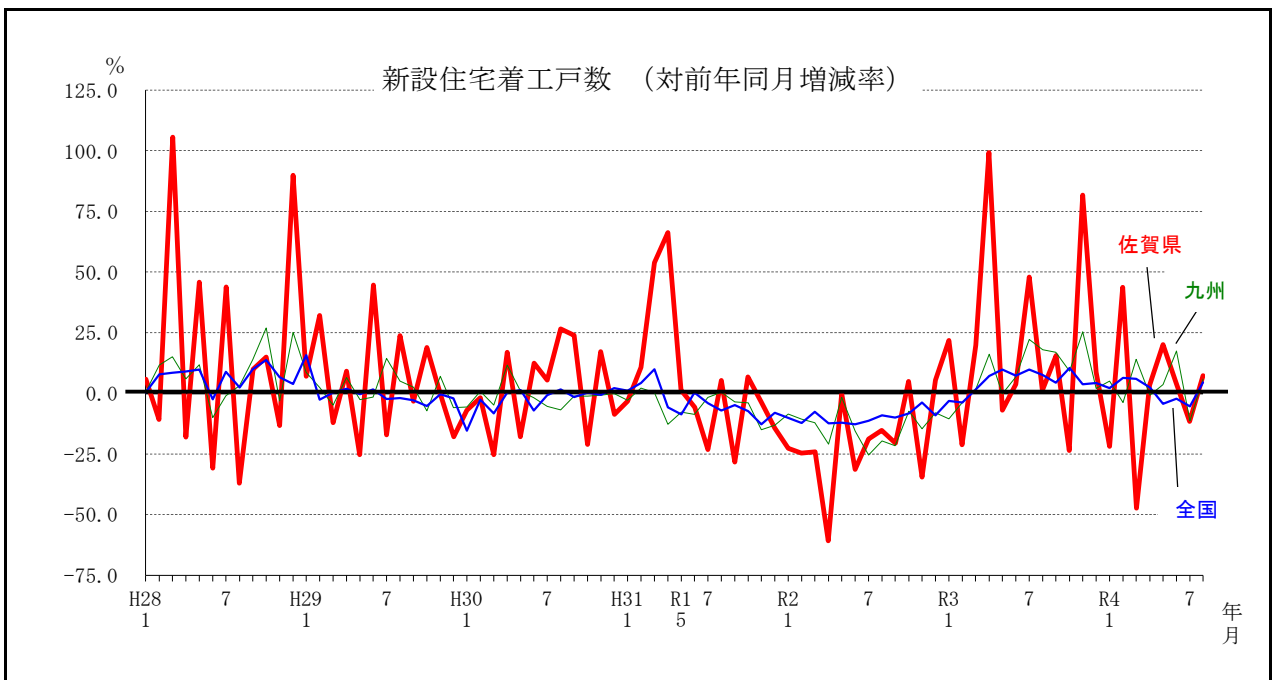
(2) 住宅建設

新設住宅着工戸数

(戸、%)

年 月	佐 賀 県			戸数対前年同月増減率			累計戸数対前年同月増減率			
	戸 数		累計戸数	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国	
		前月比								
平成29年			5,519				1.0	1.8	-0.1	
30			5,574				1.0	-1.2	-2.5	
令和元年			5,673				1.8	-5.8	-4.0	
2			4,409				-22.3	-14.2	-9.9	
3			5,112				15.9	8.4	5.0	
令和3年	3月	440	51.7	1,092	19.9	1.3	1.5	5.8	-4.3	-1.6
	4	504	14.5	1,596	99.2	16.2	7.1	24.2	0.8	0.7
	5	344	-31.7	1,940	-7.0	-0.2	9.9	17.2	0.6	2.5
	6	393	14.2	2,333	3.7	6.8	7.3	14.7	1.6	3.3
	7	530	34.9	2,863	48.0	22.1	9.9	19.7	4.5	4.3
	8	427	-19.4	3,290	1.2	17.9	7.5	16.9	6.1	4.7
	9	413	-3.3	3,703	15.7	16.9	4.3	16.8	7.3	4.7
	10	408	-1.2	4,111	-23.6	9.1	10.4	11.0	7.5	5.3
	11	587	43.9	4,698	81.7	25.4	3.7	16.6	9.1	5.1
	12	414	-29.5	5,112	8.7	2.0	4.2	15.9	8.4	5.0
4年	1月	283	-31.6	283	-21.8	5.0	2.1	-21.8	5.0	2.1
	2	417	47.3	700	43.8	-3.8	6.3	7.4	0.2	4.3
	3	232	-44.4	932	-47.3	14.1	6.0	-14.7	5.0	4.9
	4	521	124.6	1,453	3.4	-0.8	2.4	-9.0	3.3	4.2
	5	413	-20.7	1,866	20.1	3.6	-4.3	-3.8	3.4	2.4
	6	408	-1.2	2,274	3.8	17.4	-2.2	-2.5	5.8	1.6
	7	469	15.0	2,743	-11.5	-11.3	-5.4	-4.2	3.0	0.5
	8	458	-2.3	3,201	7.3	5.9	4.6	-2.7	3.4	1.0

国土交通省『建築着工統計』 ※九州には沖縄を含む。



8月は、458戸で前年同月比7.3%増となり、2ヵ月振りに前年同月を上回った。また、前月比は2.3%減となった。

(3) 公共工事

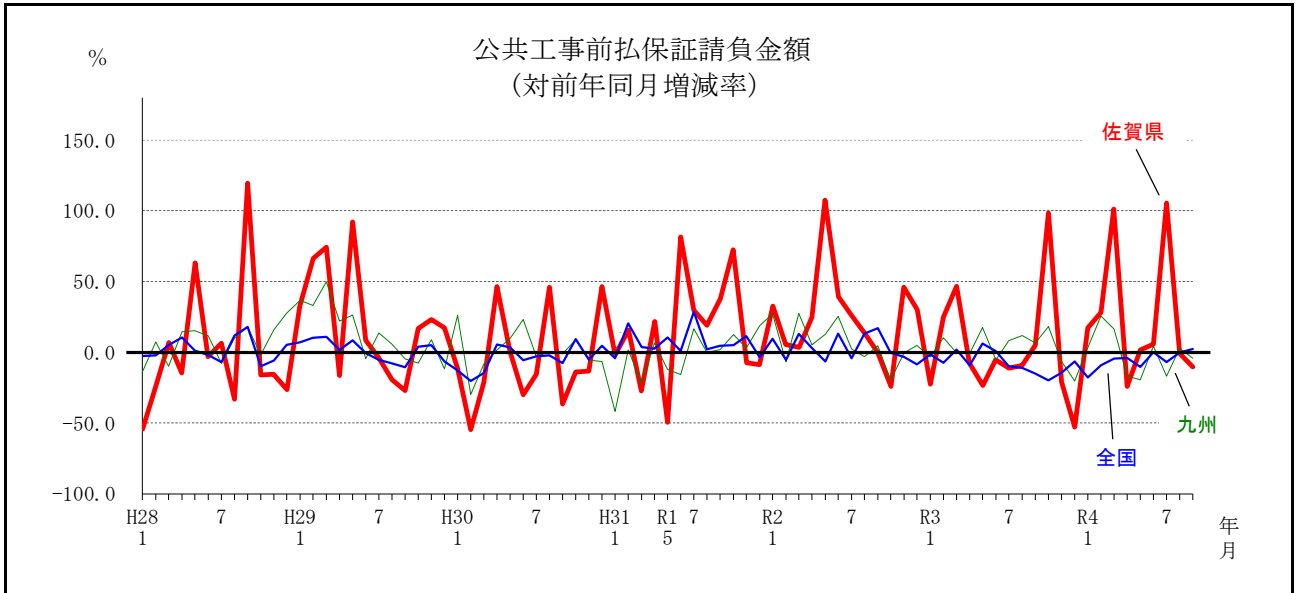
公共工事前払保証請負金額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県		累計金額	請負金額対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率		
	請負金額			佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
		前月比							
平成29 年度			101,665				-4.4	1.8	-4.3
30			100,880				-0.8	-2.9	1.1
令和元 年度			114,725				13.7	5.8	6.8
2			141,906				23.7	2.5	2.3
3			147,401				3.9	6.1	-8.6
令和 3 年									
4 月	25,880	161.8	25,880	-7.7	-0.9	-9.2	-7.7	-0.9	-9.2
5	12,719	-50.9	38,600	-23.5	17.4	6.3	-13.6	6.0	-3.5
6	14,769	16.1	53,369	-5.2	-5.4	0.7	-11.4	2.1	-2.2
7	9,891	-33.0	63,261	-11.2	8.3	-9.9	-11.4	3.7	-3.9
8	12,710	28.5	75,971	-9.2	12.0	-11.0	-11.0	5.1	-5.1
9	11,376	-10.5	87,348	5.1	6.7	-15.1	-9.2	5.4	-6.6
10	17,279	51.9	104,628	98.5	18.2	-19.8	-0.3	6.9	-8.2
11	6,373	-63.1	111,001	-20.9	-6.6	-14.5	-1.7	5.8	-8.7
12	4,301	-32.5	115,302	-52.8	-20.4	-6.6	-5.6	3.7	-8.6
4 年									
1 月	5,676	32.0	120,979	17.3	3.3	-17.7	-4.7	3.7	-9.0
2	6,529	15.0	127,508	28.3	25.6	-9.1	-3.4	4.9	-9.0
3	19,893	204.7	147,401	101.2	16.3	-4.3	3.9	6.1	-8.6
4	19,622	-1.4	19,622	-24.2	-16.8	-4.0	-24.2	-16.8	-4.0
5	12,927	-34.1	32,549	1.6	-19.4	-10.3	-15.7	-17.9	-6.5
6	15,610	20.8	48,160	5.7	4.4	0.1	-9.8	-10.9	-4.4
7	20,338	30.3	68,499	105.6	-16.9	-7.0	8.3	-12.5	-5.0
8	12,607	-38.0	81,106	-0.8	2.8	-0.1	6.8	-9.8	-4.2
9	10,216	-19.0	91,322	-10.2	-4.2	2.4	4.5	-8.8	-3.3

西日本建設業保証(株)

※四捨五入の関係で累計額が内訳と一致しない場合がある。九州には沖縄を含む。



9月は、102億16百万円で前年同月比10.2%減となり、2ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は19.0%減となった。

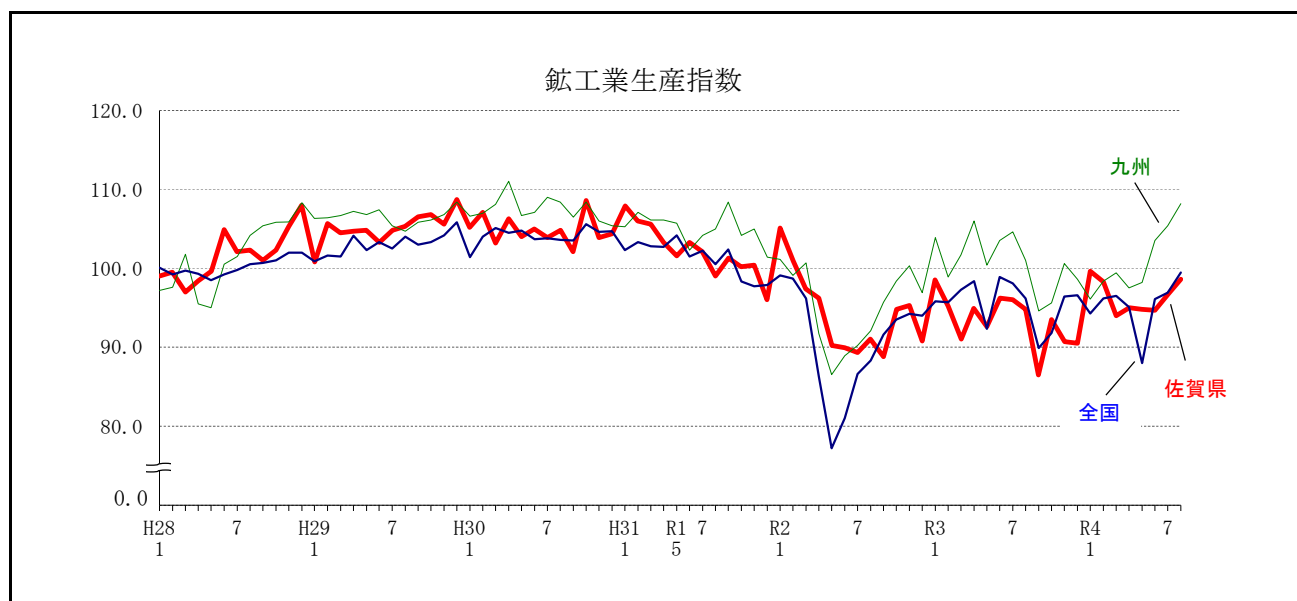
(4) 鋳工業生産

鋳工業生産指数 (季節調整済)

(%)

年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐賀県 H27=100	九 州 H27=100	全 国 H27=100	佐賀県 H27=100	九 州 H27=100	全 国 H27=100	佐賀県 H27=100	九 州 H27=100	全 国 H27=100
平成29年平均	105.3	106.5	103.1				3.7	4.8	3.1
30	104.9	107.5	104.2				-0.4	0.9	1.1
令和元年平均	101.7	104.7	101.1				-3.1	-2.6	-3.0
2	93.9	95.4	90.6				-7.7	-8.9	-10.4
3	93.2	r 100.6	95.7				-0.7	r 5.5	5.6
令和3年 3月	91.0	r 101.7	97.3	-4.4	r 2.6	1.7	-3.2	r 4.4	3.6
4	94.9	r 106.0	98.4	4.3	r 4.2	1.1	-1.4	r 16.4	15.6
5	92.6	r 100.4	92.3	-2.4	r -5.3	-6.2	2.7	r 14.0	21.0
6	96.2	r 103.5	98.9	3.9	r 3.1	7.2	7.0	r 16.2	22.9
7	96.0	r 104.6	98.1	-0.2	r 1.1	-0.8	7.5	r 15.0	11.1
8	94.8	r 101.0	96.2	-1.3	r -3.4	-1.9	6.1	r 11.5	8.4
9	86.5	r 94.6	89.9	-8.8	r -6.3	-6.5	-2.7	r -1.7	-2.5
10	93.5	r 95.6	91.8	8.1	r 1.1	2.1	-4.7	r -6.4	-4.3
11	90.7	r 100.6	96.4	-3.0	r 5.2	5.0	-3.1	r 3.3	4.8
12	90.5	r 98.6	96.6	-0.2	r -2.0	0.2	-0.3	r 0.7	2.2
4年 1月	99.6	r 96.1	94.3	10.1	r -2.5	-2.4	1.1	r -5.1	-0.8
2	98.3	r 98.4	96.2	-1.3	r 2.4	2.0	3.3	r -0.6	0.5
3	94.0	r 99.4	96.5	-4.4	r 1.0	0.3	3.3	r -3.3	-1.7
4	95.0	r 97.5	95.1	1.1	r -1.9	-1.5	0.1	r -9.5	-4.9
5	94.8	r 98.2	88.0	-0.2	r 0.7	-7.5	2.4	r -0.6	-3.1
6	94.7	r 103.5	96.1	-0.1	r 5.4	9.2	-1.5	r 0.0	-2.8
7	96.7	r 105.4	r 96.9	2.1	r 1.8	r 0.8	0.7	r 0.3	r -2.0
8	98.6	p 108.2	p 99.5	2.0	p 2.7	p 2.7	4.0	p 8.9	p 5.1

佐賀：統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』 平成27年=100
九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』 平成27年=100
※令和2、3、4年の数値は年間補正後若干変動する場合がある。
※年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数。九州には沖縄を含まない。



8月は、98.6で前年同月比4.0%増となり、2ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は2.0%増となった。

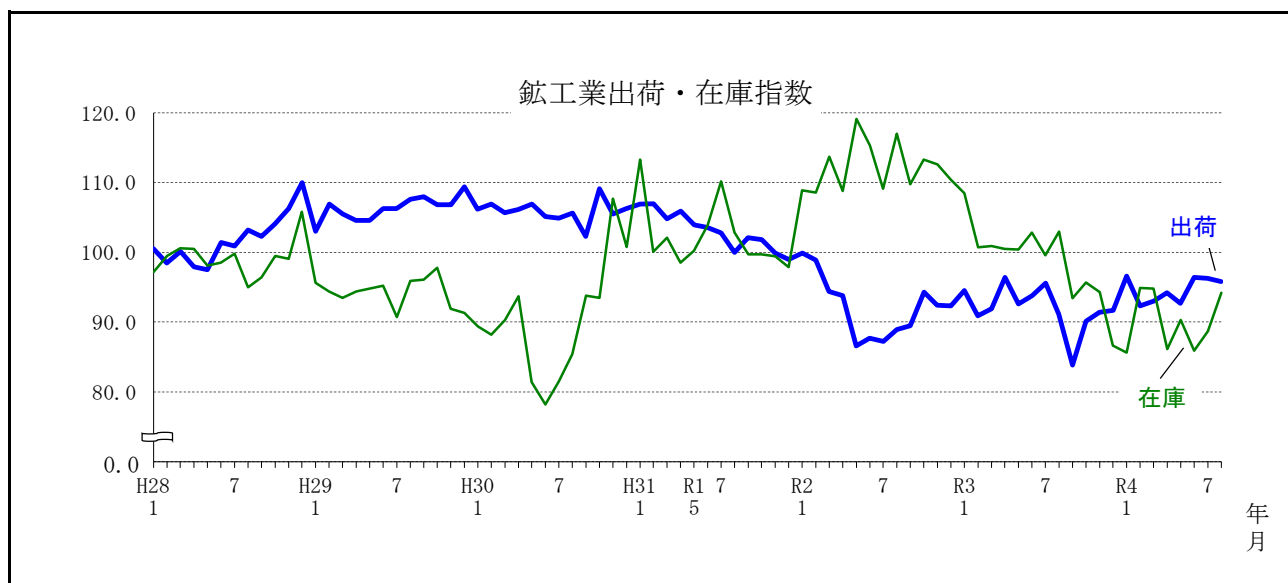
(4) 鋳工業生産 (続き)

鋳工業出荷、在庫指数 (季節調整済)

(%)

年 月	出 荷		在 庫	
	指 数	対前年同 月増減率	指 数	対前年同 月増減率
平成29年平均	106.3	4.2	94.5	-4.4
30	106.0	-0.3	90.3	-4.4
令和元年平均	103.1	-2.7	102.3	13.3
2	92.1	-10.7	112.1	9.6
3	92.1	0.0	98.9	-11.8
令和3年 3月	91.9	-0.9	100.9	-10.9
4	96.4	2.8	100.5	-7.6
5	92.6	7.0	100.4	-15.7
6	93.8	7.0	102.8	-10.8
7	95.6	7.7	99.6	-8.6
8	91.1	4.5	103.0	-11.9
9	83.8	-6.5	93.4	-15.0
10	90.1	-6.3	95.7	-15.5
11	91.4	0.8	94.3	-16.2
12	91.7	-0.7	86.6	-21.6
4年 1月	96.6	2.2	85.6	-21.1
2	92.3	1.6	94.9	-5.7
3	93.0	1.2	94.8	-6.0
4	94.2	-2.3	86.1	-14.3
5	92.7	0.1	90.3	-10.0
6	96.4	2.7	85.9	-16.5
7	96.3	0.7	88.7	-11.0
8	95.8	5.2	94.2	-8.6

統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』 平成27年=100
 ※令和2、3、4年の数値は年間補正後若干変動する場合がある。
 ※年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数



(5) 雇用労働
所定外労働時間数

令和2年平均=100

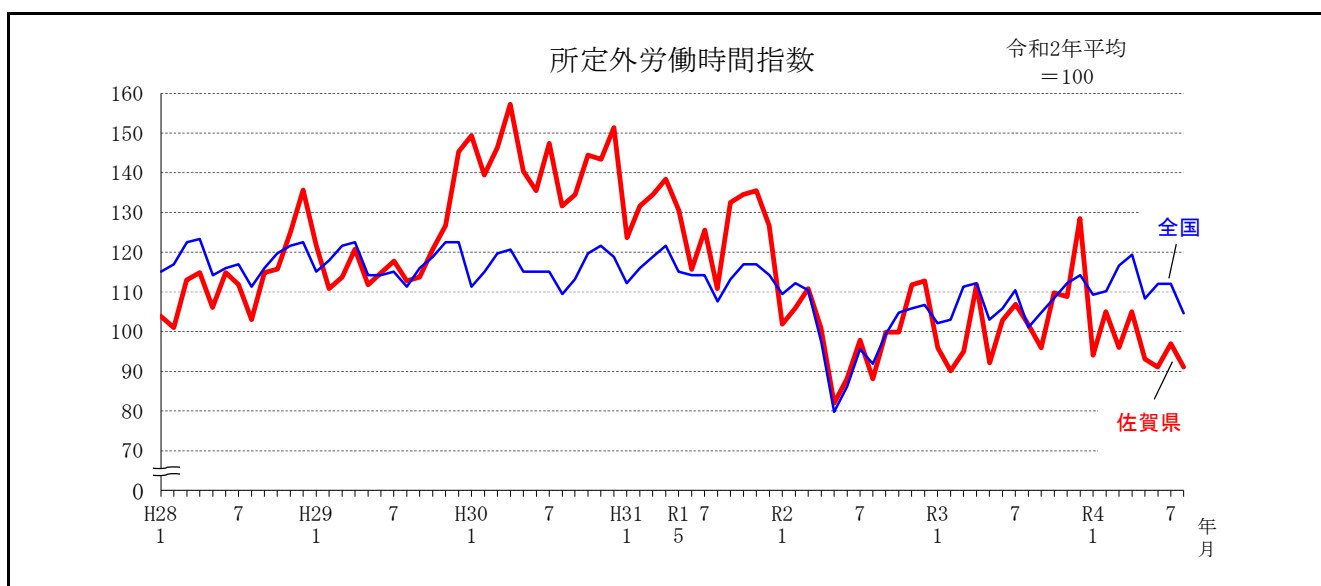
(時間、%)

年 月	所定外労働時間数		同 指 数		対前年同月増減率	
	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国
平成29年平均	12.1	12.7	119.2	117.6	5.2	-0.1
30	14.5	12.5	143.4	116.2	20.3	-1.1
令和元年平均	13.0	12.4	128.3	115.1	-10.6	-1.0
2	10.1	10.8	100.0	100.0	-22.0	-13.1
3	10.4	11.6	103.3	107.4	3.3	7.4
令和3年 3月	9.6	12.0	95.0	111.3	-14.2	0.9
4	11.3	12.1	111.8	112.2	10.9	15.2
5	9.3	11.1	92.1	103.0	12.2	28.9
6	10.4	11.4	102.9	105.8	16.8	22.6
7	10.8	11.9	106.9	110.4	9.1	15.5
8	10.3	10.9	101.9	101.1	15.8	10.2
9	9.7	11.3	95.9	104.8	-4.0	5.7
10	11.1	11.7	109.8	108.5	9.9	3.5
11	11.0	12.1	108.8	112.2	-2.7	6.1
12	13.0	12.3	128.5	114.2	14.0	7.0
4年 1月	9.5	11.8	94.1	109.3	-1.9	7.1
2	10.6	11.9	105.0	110.2	16.5	7.0
3	9.7	12.6	96.0	116.7	1.1	4.9
4	10.6	12.9	105.0	119.4	-6.1	6.4
5	9.4	11.7	93.1	108.3	1.1	5.1
6	9.2	12.1	91.1	112.0	-11.5	5.9
7	9.8	12.1	97.0	112.0	-9.3	1.4
8	9.2	11.3	91.1	104.6	-10.6	3.5

佐賀：統計分析課『毎月勤労統計調査（地方調査）』（事業所規模30人以上）

全国：厚生労働省『 “ ” （全国調査）』（ “ ” ）（再集計値）

※増減率は指数をベースとする。



8月は、91.1で前年同月比10.6%減となり、3ヵ月連続で前年同月を下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(受理地別)(季節調整済) (倍)

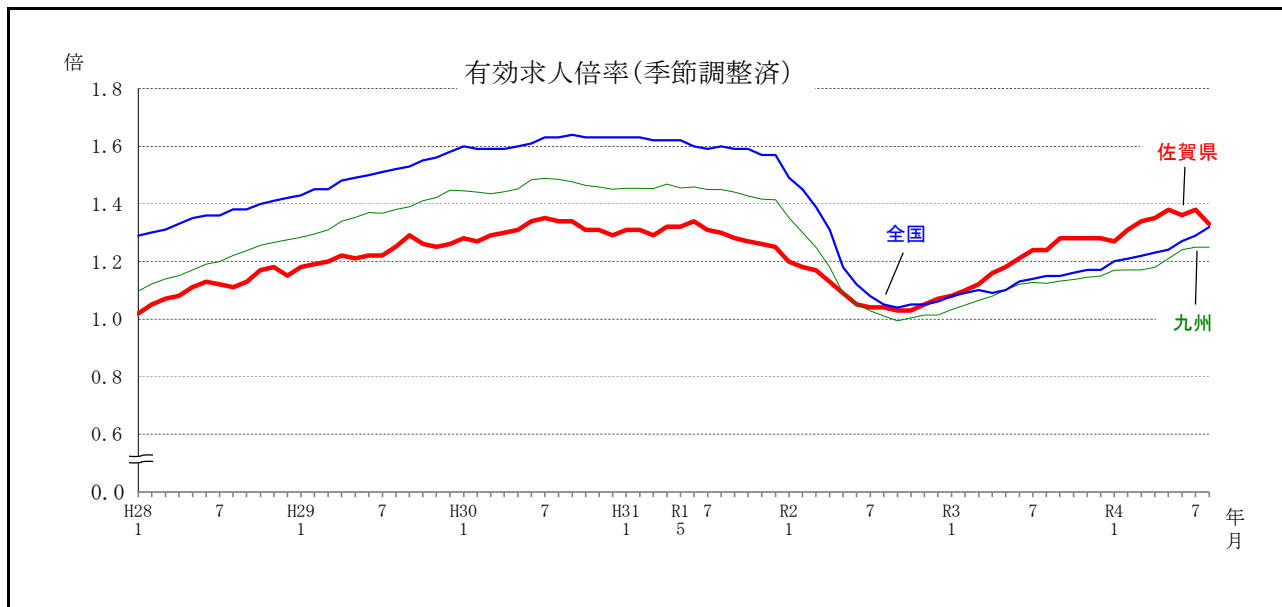
年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
平成29年度	1.25	1.40	1.54
30	1.32	1.46	1.62
令和元年度	1.26	1.40	1.55
2	1.07	1.05	1.10
3	1.26	1.14	1.16
令和3年 3月	1.12	1.06	1.10
4	1.16	1.08	1.09
5	1.18	1.10	1.10
6	1.21	1.12	1.13
7	1.24	1.13	1.14
8	1.24	1.12	1.15
9	1.28	1.13	1.15
10	1.28	1.14	1.16
11	1.28	1.14	1.17
12	1.28	1.15	1.17
4年 1月	1.27	1.17	1.20
2	1.31	1.17	1.21
3	1.34	1.17	1.22
4	1.35	1.18	1.23
5	1.38	1.21	1.24
6	1.36	1.24	1.27
7	1.38	1.25	1.29
8	1.33	1.25	1.32

佐賀労働局『一般職業紹介状況』
厚生労働省『一般職業紹介状況』
※パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。
※年度の数値は原数値。

地区別有効求人倍率(受理地別) (原数値) (倍)

年 月	ハローワーク別有効求人倍率					
	佐賀	唐津	武雄	伊万里	鳥栖	鹿島
平成29年度	1.26	1.07	1.04	1.24	1.61	1.09
30	1.27	1.17	1.21	1.28	1.70	1.22
令和元年度	1.19	1.18	1.25	1.29	1.59	1.16
2	1.08	0.98	1.03	1.06	1.22	0.95
3	1.26	1.17	1.23	1.33	1.33	1.17
令和3年 3月	1.12	1.06	1.16	1.10	1.22	1.08
4	1.03	0.98	1.09	1.13	1.16	0.98
5	1.04	0.99	1.06	1.15	1.10	0.99
6	1.09	1.03	1.10	1.21	1.15	1.00
7	1.15	1.11	1.21	1.44	1.30	1.03
8	1.13	1.12	1.21	1.36	1.34	1.08
9	1.28	1.13	1.21	1.35	1.40	1.08
10	1.36	1.23	1.24	1.30	1.42	1.25
11	1.41	1.29	1.29	1.37	1.34	1.36
12	1.49	1.38	1.38	1.44	1.40	1.51
4年 1月	1.46	1.31	1.33	1.42	1.48	1.40
2	1.40	1.29	1.37	1.41	1.51	1.36
3	1.35	1.31	1.32	1.42	1.44	1.18
4	1.26	1.20	1.22	1.33	1.28	1.11
5	1.22	1.22	1.20	1.28	1.19	1.16
6	1.25	1.15	1.21	1.34	1.20	1.25
7	1.33	1.21	1.37	1.46	1.23	1.35
8	1.26	1.17	1.36	1.53	1.27	1.31

佐賀労働局『一般職業紹介状況』
※パートタイムを含む。



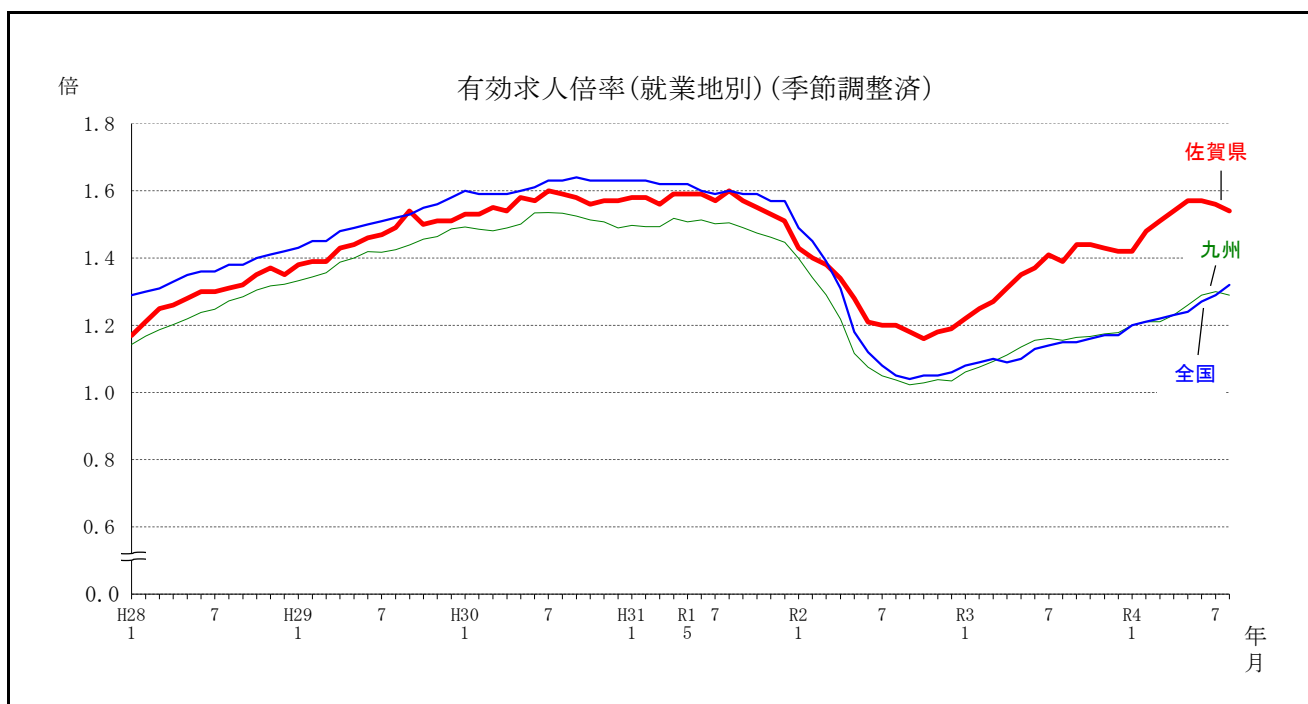
8月は、1.33倍で前年同月を0.09ポイント上回り、17ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は0.05ポイント下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(就業地別)(季節調整済) (倍)

年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
令和3年 3月	1.27	1.09	1.10
4	1.31	1.11	1.09
5	1.35	1.14	1.10
6	1.37	1.16	1.13
7	1.41	1.16	1.14
8	1.39	1.16	1.15
9	1.44	1.16	1.15
10	1.44	1.17	1.16
11	1.43	1.17	1.17
12	1.42	1.18	1.17
4年 1月	1.42	1.20	1.20
2	1.48	1.21	1.21
3	1.51	1.21	1.22
4	1.54	1.23	1.23
5	1.57	1.26	1.24
6	1.57	1.29	1.27
7	1.56	1.30	1.29
8	1.54	1.29	1.32

厚生労働省『一般職業紹介状況』
 ※パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。



8月は、1.54倍で前年同月を0.15ポイント上回り、16ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は0.02ポイント下回った。

(6) 企業倒産

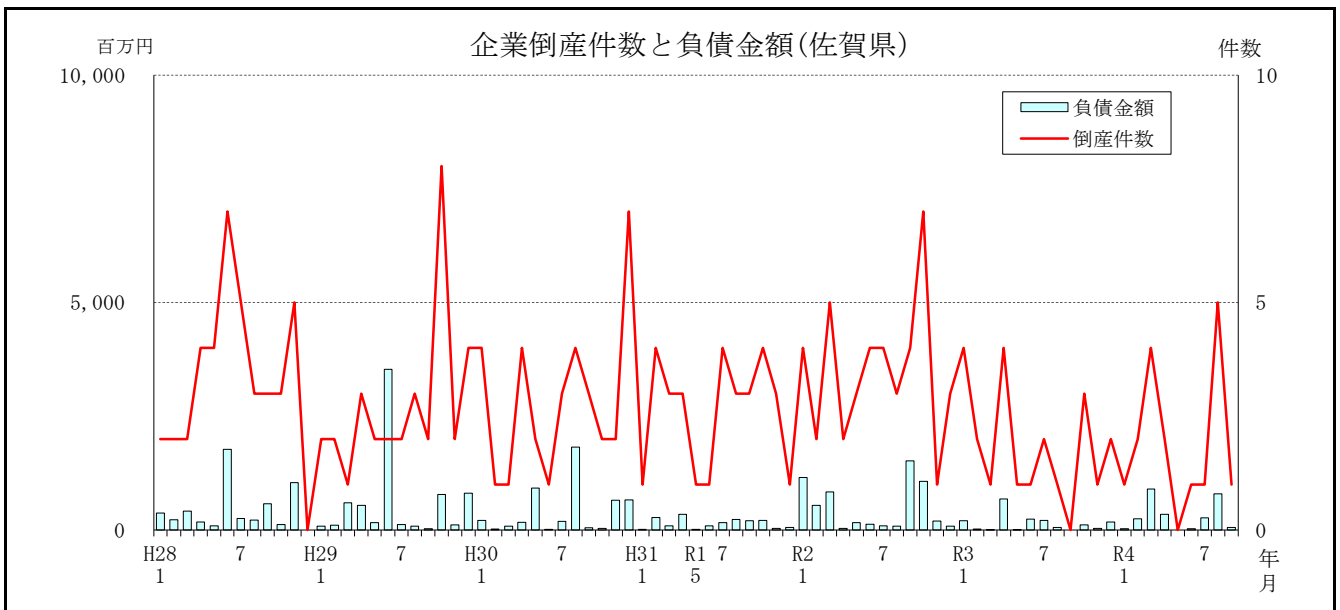
企業倒産件数、負債金額

(件、百万円、%)

年 月	佐 賀 県				累計件数対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率			
	件 数	累計件数	金 額	累計金額	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国	
平成29年		33		6,983	-17.5	-9.6	-0.5	31.8	-21.8	57.9	
30		34		4,863	3.0	13.1	-2.0	-30.4	3.5	-53.1	
令和元年		31		1,770	-8.8	10.2	1.8	-63.6	-4.1	-4.2	
2		42		5,944	35.5	-11.4	-7.3	235.8	11.4	-14.3	
3		22		1,795	-47.6	-24.8	-22.4	-69.8	-24.8	-5.7	
令和3年	4月	4	11	686	928	-15.4	-37.4	-30.1	-64.1	-29.4	-16.2
	5	1	12	10	938	-25.0	-30.4	-22.3	-65.9	-25.2	2.8
	6	1	13	241	1,179	-35.0	-30.6	-23.9	-59.1	-18.5	-6.9
	7	2	15	216	1,395	-37.5	-32.6	-26.5	-53.2	-26.4	-9.9
	8	1	16	60	1,455	-40.7	-30.9	-27.0	-52.6	-18.7	-6.8
	9	0	16	0	1,455	-48.4	-29.4	-25.4	-68.3	-23.0	-4.0
	10	3	19	118	1,573	-50.0	-26.2	-24.5	-72.2	-14.8	-1.6
	11	1	20	40	1,613	-48.7	-25.6	-23.4	-72.5	-14.1	-2.2
	12	2	22	182	1,795	-47.6	-24.8	-22.4	-69.8	-24.8	-5.7
4年	1月	1	1	35	35	-75.0	-7.1	-4.6	-83.1	28.3	-17.8
	2	2	3	246	281	-50.0	4.3	-1.0	21.1	81.2	-7.4
	3	4	7	903	1,184	0.0	12.7	-3.2	389.3	124.5	5.9
	4	2	9	345	1,529	-18.2	14.5	-2.0	64.8	126.8	3.9
	5	0	9	0	1,529	-25.0	12.3	0.4	63.0	85.3	-12.3
	6	1	10	35	1,564	-23.1	8.9	0.5	32.7	98.1	179.4
	7	1	11	267	1,831	-26.7	9.1	1.0	31.3	129.2	162.5
	8	5	16	797	2,628	0.0	8.6	1.5	80.6	98.0	146.1
	9	1	17	60	2,688	6.3	10.6	3.4	84.7	95.2	137.0

(株) 東京商工リサーチ『全国企業倒産状況』

※負債金額1千万円以上。九州には沖縄を含む。



9月は、倒産件数1件、負債金額60百万円、前年同月と比べて件数は1件増で、金額は60百万円上回った。また、前月と比べて件数は4件減で、金額は7億37百万円下回った。

(7) 物 価

消費者物価指数

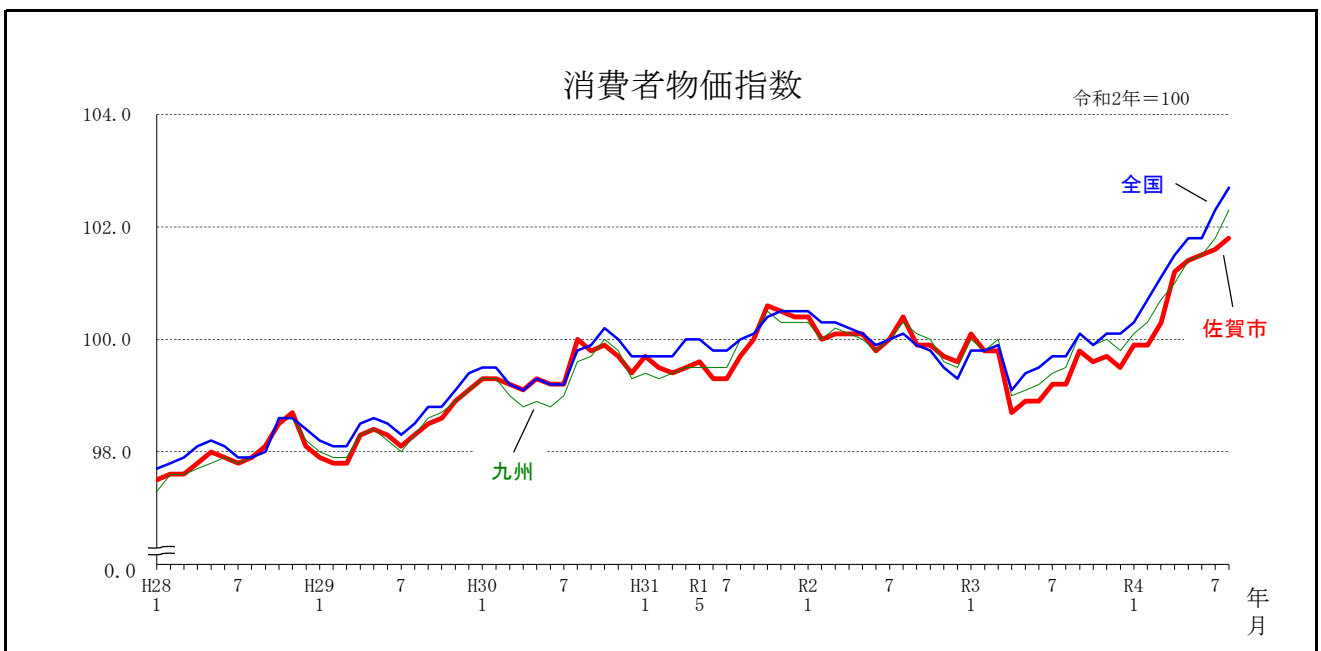
令和2年=100

(%)

年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国
平成29 年平均	98.3	98.4	98.6				0.4	0.5	0.5
30	99.5	99.3	99.5				1.1	0.9	1.0
令和元 年平均	99.8	99.8	100.0				0.3	0.5	0.5
2	100.0	100.0	100.0				0.2	0.2	0.0
3	99.4	99.7	99.8				-0.6	-0.3	-0.2
令和 3 年 3 月	99.8	100.0	99.9	0.0	0.1	0.1	-0.4	-0.2	-0.4
4	98.7	99.0	99.1	-1.0	-1.0	-0.8	-1.3	-1.1	-1.1
5	98.9	99.1	99.4	0.1	0.1	0.3	-1.3	-0.9	-0.8
6	98.9	99.2	99.5	0.1	0.1	0.1	-0.9	-0.6	-0.5
7	99.2	99.4	99.7	0.3	0.2	0.2	-0.8	-0.6	-0.3
8	99.2	99.5	99.7	0.0	0.1	0.0	-1.2	-0.8	-0.4
9	99.8	100.1	100.1	0.6	0.6	0.4	-0.1	0.0	0.2
10	99.6	99.9	99.9	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	-0.1	0.1
11	99.7	100.0	100.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.6
12	99.5	99.8	100.1	-0.2	-0.1	0.0	-0.1	0.4	0.8
4 年 1 月	99.9	100.1	100.3	0.4	0.3	0.3	-0.2	0.1	0.5
2	99.9	100.3	100.7	0.0	0.2	0.4	0.1	0.5	0.9
3	100.3	100.7	101.1	0.4	0.4	0.4	0.6	0.8	1.2
4	101.2	101.0	101.5	0.8	0.3	0.4	2.5	2.1	2.5
5	101.4	101.4	101.8	0.2	0.4	0.3	2.6	2.3	2.5
6	101.5	101.5	101.8	0.1	0.1	0.0	2.6	2.3	2.4
7	101.6	101.8	102.3	0.1	0.4	0.5	2.4	2.4	2.6
8	101.8	102.3	102.7	0.2	0.4	0.4	2.7	2.8	3.0

統計分析課『消費者物価指数』

※九州には沖縄（那覇市）を含む。



8月は、101.8で前年同月比2.7%増となった。また、前月比は0.2%増であった。

(8) 金融

金融機関別貸出残高(佐賀県)

(億円、%)

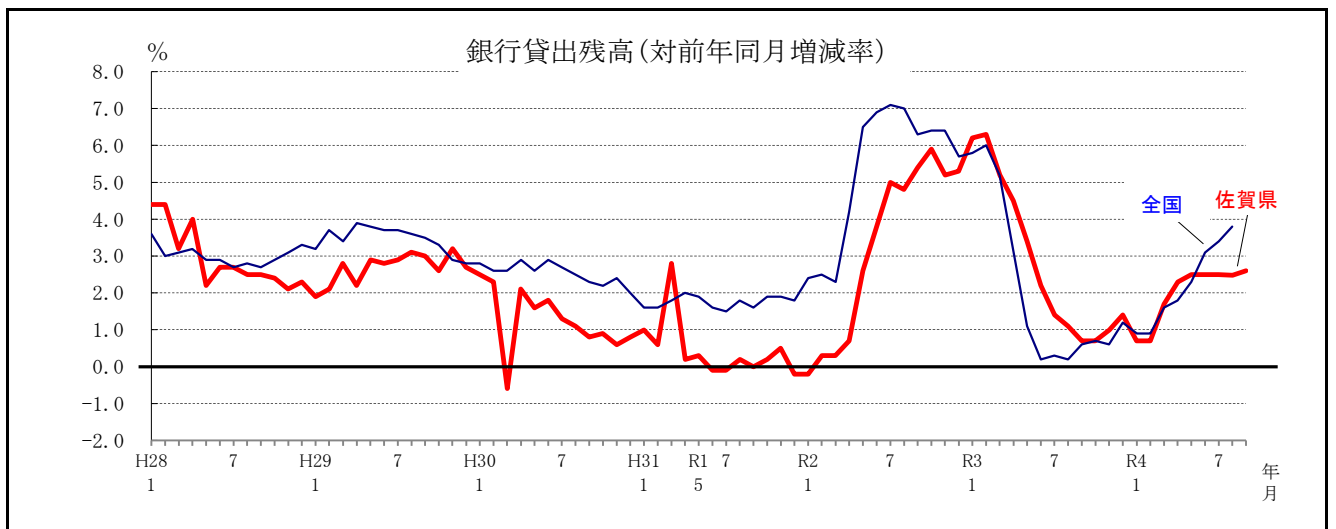
貸出約定平均
金利

(年利%)

年月末	合計					銀行対前年 同月増減率		年月	地方銀行 全国
		銀行	前月比	信用 金庫	信用 組合	佐賀県	全国		
平成29年	16,228	13,257		2,352	619	2.7	2.8	平成29年	1.006
30	16,411	13,367		2,397	647	0.8	2.0	30	0.946
令和元年	16,426	13,344		2,434	648	-0.2	1.8	令和元年	0.898
2	17,385	14,050		2,618	717	5.3	5.7	2	0.858
3	17,573	14,240		2,622	711	1.4	1.2	3	0.828
令和3年 4月	17,222	13,912	-0.8	2,601	709	4.5	3.1	令和3年 4月	0.848
5	17,358	14,049	1.0	2,602	707	3.4	1.1	5	0.846
6	17,349	14,041	-0.1	2,602	706	2.2	0.2	6	0.844
7	17,416	14,103	0.4	2,606	707	1.4	0.3	7	0.840
8	17,425	14,116	0.1	2,604	705	1.1	0.2	8	0.838
9	17,360	14,048	-0.5	2,609	703	0.7	0.6	9	0.836
10	17,407	14,087	0.3	2,615	705	0.7	0.7	10	0.834
11	17,422	14,111	0.2	2,605	706	1.0	0.6	11	0.831
12	17,573	14,240	0.9	2,622	711	1.4	1.2	12	0.828
4年 1月	17,526	14,198	-0.3	2,615	713	0.7	0.9	4年 1月	0.826
2	17,582	14,260	0.4	2,611	711	0.7	0.9	2	0.823
3	17,610	14,259	-0.0	2,629	722	1.7	1.6	3	0.822
4	17,570	14,238	-0.1	2,614	718	2.3	1.8	4	0.819
5	17,739	14,406	1.2	2,616	717	2.5	2.3	5	0.815
6	17,724	14,395	-0.1	2,613	716	2.5	3.1	6	0.814
7	17,789	14,452	0.4	2,621	716	2.5	3.4	7	0.811
8	17,803	14,466	0.1	2,623	714	2.5	3.8	8	0.807
9	17,755	14,414	-0.4	2,630	711	2.6			

佐賀：(一社)佐賀県銀行協会、佐賀県信用金庫協会、佐賀県信用組合協会提供
 全国：日本銀行『金融経済統計月報』
 ※暦年値は各年12月を採用。
 ※四捨五入の関係で合計額が内訳と一致しない場合がある。

全国：日本銀行『貸出約定
 平均金利の推移』
 ※貸出約定平均金利には
 当座貸越を含む。
 ※暦年値は各年12月を採用。



9月の銀行貸出残高は、1兆4,414億円で前年同月比2.6%増となり、32ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は、0.4%減となった。

(9) 人口
人口、世帯

(人)

(世帯)

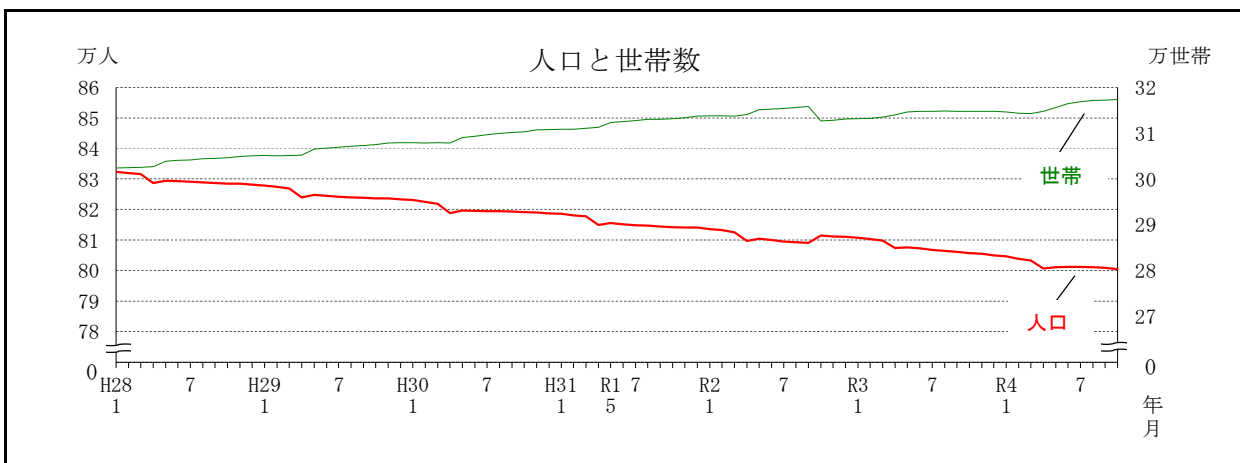
年月	人口			世帯数		
	人口	対前月増減数	対前年増減数	世帯数	対前月増減数	対前年増減数
平成29年	823,620		-4,768	307,514		2,868
平成30	819,110		-4,510	310,323		2,809
令和元年	814,211		-4,899	313,132		2,809
2	811,442		-2,769	312,680		-452
3	805,721		-5,721	314,731		2,051
令和3年 4月	807,362	-2,462	-2,358	313,992	494	-110
5	807,552	190	-2,879	314,633	641	-496
6	807,300	-252	-2,664	314,831	198	-393
7	806,752	-548	-2,734	314,820	-11	-625
8	806,421	-331	-2,827	314,855	35	-784
9	806,113	-308	-2,989	314,817	-38	-951
10	805,721	-392	-5,721	314,731	-86	2,051
11	805,446	-275	-5,750	314,743	12	1,876
12	805,017	-429	-5,999	314,725	-18	1,622
4年 1月	804,592	-425	-6,103	314,636	-89	1,492
2	803,838	-754	-6,495	314,397	-239	1,109
3	803,244	-594	-6,580	314,341	-56	843
4	800,678	-2,566	-6,684	314,736	395	744
5	801,036	358	-6,516	315,629	893	996
6	801,241	205	-6,059	316,460	831	1,629
7	801,250	9	-5,502	316,912	452	2,092
8	801,104	-146	-5,317	317,132	220	2,277
9	800,883	-221	-5,230	317,208	76	2,391
10	800,511	-372	-5,210	317,304	96	2,573

統計分析課『佐賀県の推計人口』

※令和2年10月値は令和2年国勢調査の確報値。

※年値は各年10月1日現在、月値は各月1日現在。

※出典資料の修正に伴い、令和4年5月の人口、その対前月増減数、対前年増減数、令和4年6月の対前月増減数を改定している。(令和5年2月28日)



(人口) 10月は、800,511人で、前年同月比5,210人の減少となり、平成9年5月以降連続して、前年同月を下回った。また、前月比372人減少した。

(世帯) 10月は、317,304世帯で、前年同月比2,573世帯の増加となった。また、前月比96世帯増加した。

3 佐賀県景気動向指数

1 令和4年8月の動向

- ◆ 先行指数 **30.0%** …… 4か月振りに50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **85.7%** …… 4か月連続で50%を上回った。
- ◆ 遅行指数 **66.7%** …… 2か月振りに50%を上回った。

〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(O)	
《先行系列》 採用系列数 10 拡張系列数 3.0 指数 30.0	所定外労働時間数 鉱工業生産指数(生産財) 銀行貸出残高(☆)	4か月振り 3か月連続 6か月連続	新規求人数 乗用車新車登録台数 鉱工業在庫率(生産財・逆) 新設住宅着工戸数 企業倒産件数(逆) 不渡手形金額(逆) 手形交換金額(☆)	2か月振り 3か月振り 2か月連続 2か月連続 4か月振り 2か月振り 4か月振り		
《一致系列》 採用系列数 7 拡張系列数 6.0 指数 85.7	就職率 鉱工業生産指数(総合) 鉱工業出荷指数(総合) 大型店売上高(☆) 着工建築物床面積(産業用) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	2か月振り 3か月連続 4か月連続 3か月振り 3か月連続 2か月連続	有効求人倍率(就業地別)	7か月振り		
《遅行系列》 採用系列数 6 拡張系列数 4.0 指数 66.7	常用雇用指数 消費者物価指数(☆) 鉱工業在庫指数(総合) 銀行預貸率	3か月連続 2か月振り 2か月連続 2か月振り	雇用保険受給実人員(逆) 陶磁器生産重量	4か月振り 7か月連続		

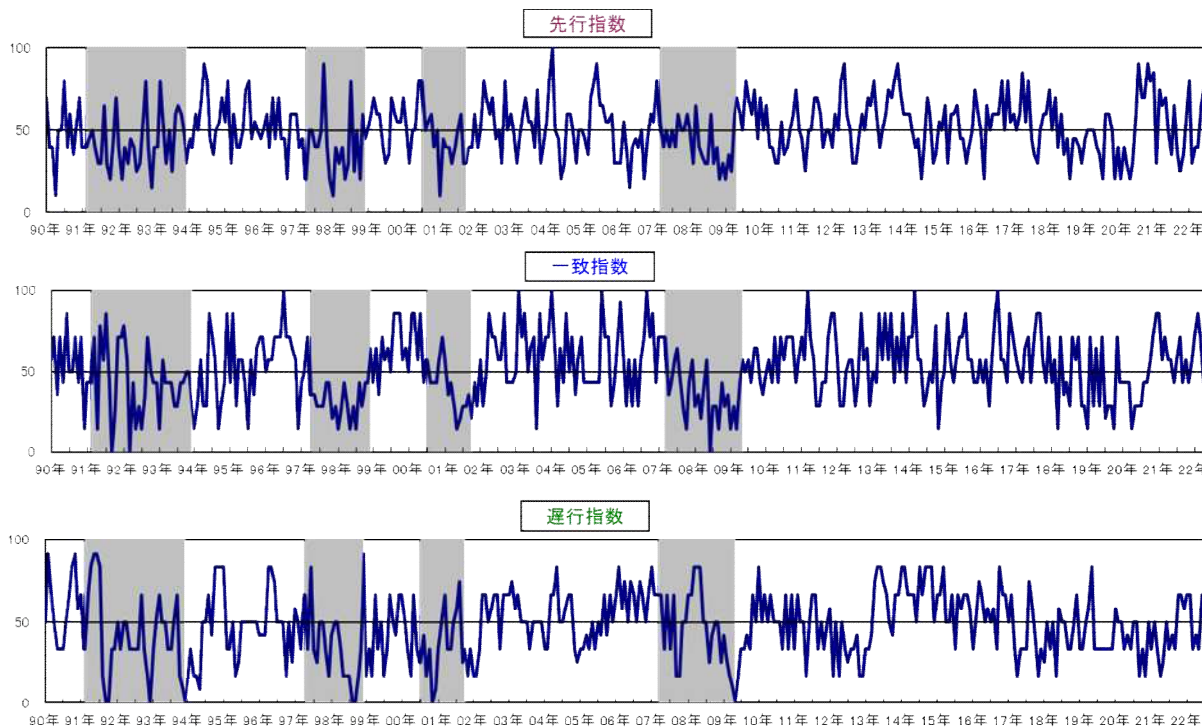
(逆)は逆サイクルを示す。

(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

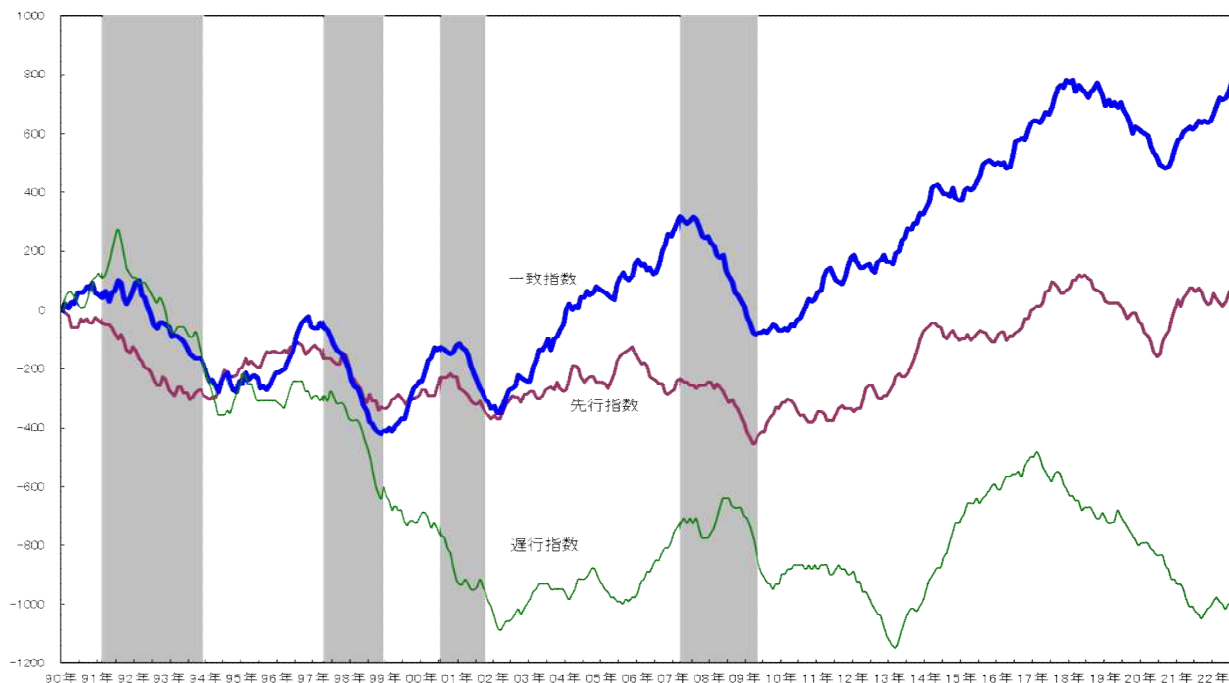
景気動向指数 (DI : Diffusion Index) の見方

- ★ DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3ヵ月前と比較して増加している系列(+)が何%を占めているかを表したものです。
各系列において、指数の計算方法は次式によります。
指数 = (「+」の指標数 + 0.5 × 保ち合い「0」の指標数) ÷ 当該採用指標数 × 100
- ★ DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。
 「先行指数」 …… 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。
 「一致指数」 …… 景気に対しほぼ一致して動き、景気の現状を示す。
 「遅行指数」 …… 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。
- ★ 一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。
なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさを示すものではありません。

〈カレントDIグラフ〉



〈累積DIグラフ〉



※ シャド一部分は景気後退期を示す。

$$\text{今月の累積DI} = \text{先月の累積DI} + (\text{今月のDI} - 50)$$